

英語教育改善プラン推進事業 第2回ワーキング会議



中学校分科会

令和3年9月27日（月）
山梨県総合教育センター
義務教育課 河西 弘之

Today's Menu

1 事務局より

はじめに

①山梨県版CAN-DOリストについて

小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

②2学期末に行うパフォーマンス課題例について

2 指導案検討

A:長坂中・湖南中 B:南西中・押原中

3 指導助言 (A:太田洋教授 B:田中武夫教授)

4 今後の予定について

①研究授業の日程

②第3回ワーキングに向けて

山梨県英語教育改善プラン推進事業 (令和3年度～令和4年度)

【背景】

- 第三期教育振興基本計画（2018～2022）及び新学習指導要領。
- グローバル化の進展に伴い、国内外の様々な場面において、外国語で躊躇なく意見を述べ、他者と交流し、共生する力の育成が求められる。
- 外国語教育の強化（小学校外国語教科化，中学校卒業時の英語力CEFR A1 50%以上，高等学校卒業時の英語力CEFR A2 50%以上）

【課題】

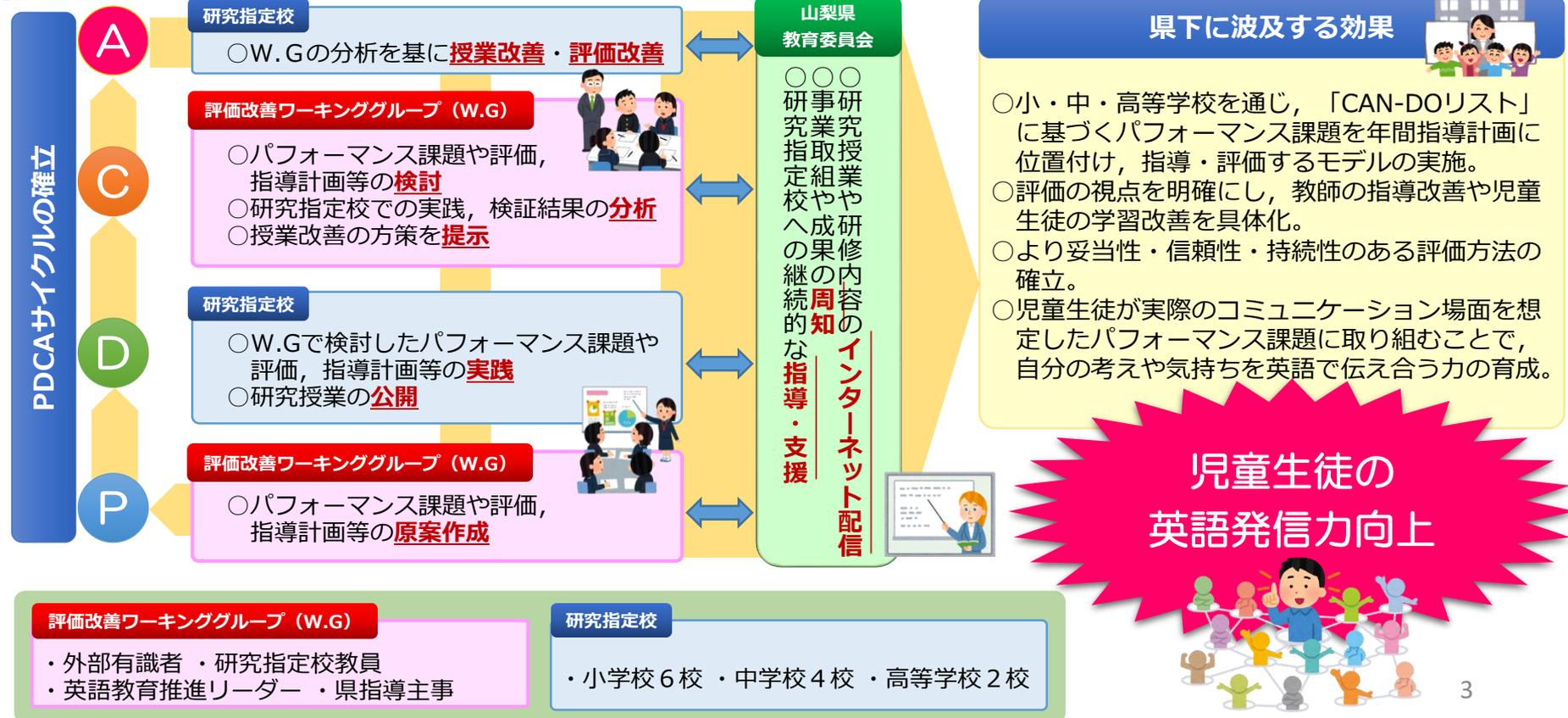
- 「話すこと」において妥当性・信頼性のある評価の実施が課題。
- 国の各調査結果から、中・高校生の「話すこと」「書くこと」に課題。
- 中学校卒業時の生徒の英語力 山梨県35.5% 全国44.0%
- 高等学校卒業時の生徒の英語力 山梨県44.7% 全国43.6%
- 「CAN-DOリスト」※1の学習指導・評価への活用が課題。

※1 CAN-DOリスト：外国語における4技能5領域ごとに「～することができる」という学習到達目標を記述したもの。

【事業目的】

小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語による発信力を向上させるために、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題（パフォーマンス課題）を設定し、指導・評価するモデルを構築する。

【事業内容】



Yamanashi Model 構築

～ 「話すこと [やり取り] 」 を中心とした発信力向上を目指して～

I 話すこと [やり取り] (スモールトーク)

即興性・双方向
継続・発展など

II 言語活動

目的・場面・状況
思判表など

Yamanashi Model
3本の矢

III 「パフォーマンス評価 (言語活動での中間指導)」

自己調整
信頼性・妥当性
運営面など

CAN-DOリスト

ルーブリック

Yamanashi Model
支える要素

小・中・高連携

振り返りシート

...

9月24日(金) 長坂中 一瀬大樹教諭 3学年 提案授業

①言語活動を通して、資質・能力を育成していた。

言語活動①→中間指導→言語活動②

(×)練習→言語活動

中間指導:生徒と共有・生徒の気づき

・言語面(言いたかったけど言えなかったこと)

・内容面(理由を述べている・根拠を強めている)

②単元終末のパフォーマンステストにおいて、単元の中で同じような言語活動を何度も繰り返していた。

③思判表におけるBの姿を一貫させていた。

単元の目標—単元の評価規準—パフォーマンステストのルーブリック—

本時の目標—本時の評価規準



3回指導案
を書き直す

単元の目標 中心領域「書くこと」

5. 単元の指導と評価の計画 全10時間

来年度から長坂中に導入されることになったロボットについて、どのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を校長先生に提出するために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

1	単元の目標を理解する。 単元終末のパフォーマンステストを提示する。	
2		
3		
4		
5	○自分がほしいロボットを相手に伝える。 ・会話活動で自分が述べた一文を文章化する。	
6	○自分の友達自慢を相手に伝える。 ・会話活動で自分が述べた一文を文章化する。	
7	○担任に似合う女性をアドバイスするために自分の意見を整理し書く。 ・会話活動で自分が述べた意見を文章化する。	
8	○関係代名詞を使って、クイズを出題する。 ・会話活動で自分が作成したクイズを文章化する。	知技
9	○ジャパネットながさか社員としてALTに商品を売るために自分の意見を整理し書く。 ・会話活動を踏まえ、おすすめの商品紹介文を書く。	思判表 主体
10	○長坂中に導入されるロボットに関する意見文を自分の意見を整理し書く	3観点 6

1 事務局より

①山梨県版CAN-DOリストについて

小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

○ **小学校**外国語科 領域別目標 「話すこと[やり取り]」

ア 基本的な表現を用いて指示, 依頼をしたり, それらに応じたりすることができるようにする。

イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして, 伝え合うことができるようにする。

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

○小学校外国語科 山梨県版CAN-DOリスト 【改訂版】

小5

- ア 初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。
- イ 日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、応答したり、質問したりして、伝え合うことができる。
- ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、自分の力で質問したり質問に答えたりして、短い会話をするすることができる。

小6

- ア 初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、自分で考え判断してそれらに応じたり、断ったりすることができる。
- イ 日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、相づちを打ったり、質問したりして、ある程度継続して伝え合うことができる。
- ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をするすることができる。

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

○中学校外国語科 領域別目標 「話すこと[やり取り]」

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

※「関心のある事柄」:スポーツ,音楽,映画,テレビ番組,学校行事,休日の計画,日常の出来事など

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

※「日常的な話題」:生徒の日々の生活に関わる話題のうち、生徒自身や家族に関すること、生徒の興味・関心の対象となることや社会生活で必要なこと

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

※「社会的な話題」:エネルギー問題や環境問題など 教師や生徒の発話,映像や音声の教材,ニュースや新聞記事,図表,ポスター,電子メールなど,様々な音声媒体や文字媒体による情報や考え

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

○ 中学校外国語 山梨県版CAN-DOリスト 【改訂版】

中1前期 = 小学校外国語科「話すこと[やり取り]ウ」

自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。

中1後期

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興である程度継続して伝え合うことができる。

中2

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興で会話を継続させることができる。

中3

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興で会話を継続・発展させることができる。

(※)即興で伝え合う、会話を継続・発展させるための方略

以下の方略を各学校の実態や学習内容に応じて、3年間、繰り返し指導する

- ①相手に聞き返したり確かめたりする
- ②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする
- ③相手の答えを受けて、自分のことを伝える
- ④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える など



会話を継続・発展させるために必要なこと

思考力判断力・表現力等

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説
外国語編P61「話すこと[やり取り]」ア

①相手に聞き返したり確かめたりする。

(Pardon? / You mean..., right?)

⇒聞いたことを理解して、理解できなかったことがあると判断する必要性

②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする。

(I see. / Really? / That's nice.)

⇒相手の発話内容や流れに応じて用いる必要性 ⇔ ただ単に言っているだけ

③相手の答えを受けて、自分のことを伝える。

(I like baseball, too.)

⇒相手の答えを理解して、目的・場面・状況に応じて自分のことを伝える必要性

④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える。(What kind of Japanese food do you like?
How about you?)

⇒相手の答えを理解したり、自分が伝えたことに関連させたりしながら、目的・場面・状況に応じた質問をする必要性

相手の発話内容を理解し、その場で適切に表現していくことを繰り返す

「話すこと[やり取り]」(スモールトーク)の広がり

①トピックの広がり

- ・小学校の教科書にあるトピックで、中学校でもスモールトークを引き継いでやる。
- ・小学校の先生にどんなパフォーマンス評価(テスト)をやったかをきく。小学校と同じパフォーマンステストをやったら、生徒はどのくらいできるのか、教師が知っておく必要がある。この先、どう伸ばしていくか、見通しがもてる。
- ・「できること」や「できつつあること」、「できないこと」や「どんなことができるようになりたいか」、振り返りを書かせることがおすすめ。その振り返りから、生徒の状況がわかる。届きそうなレベルで設定する。

⇒「いろいろなトピックで話せるよ。」

②言語の広がり

- ・「言語面では、こんな表現が使えるんだ、うまいな。」「内容面では、具体的に言えるようになってるな。事実だけではなく、感想も言っているな。」など、やりとりが深くなっているかを見取る。
- ・いつも同じ動詞を活用するのではない。中学生が使用する動詞はlike, playが圧倒的に多い。いつも同じ形容詞ではない。(語彙面)
- ・今までならってきたことをどれだけ使おうとしているか。(文法面)

⇒「いろいろな言い方で話せるよ。Varietyに富んで使おうとしているよ。」

③やり取りの質の広がり

- ・「ひとつ答えたら、相手に質問することができる。」「相手からの質問に対する答えに具体的なことを付け加えている。」「相手が言ったことに対して反応することができる。」など

⇒「いろいろなやり取りをしながら話せるよ。」

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

○ 中学校外国語 山梨県版CAN-DOリスト 【改訂版】

中1

日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

中2

日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に応答したりして、会話を継続させることができる。

中3

日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に応答したりして、会話を継続・発展させることができる。

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

○ 中学校外国語 山梨県版CAN-DOリスト 【改訂版】

中1

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

中2

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

中3

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを説明したり、相手により詳しい説明を求めたりするなど、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

○**高等学校**外国語科(英語コミュニケーションⅠ)
領域別目標 「話すこと[やり取り]」

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

参考：**中学校**外国語 山梨県版CAN-DOリスト(中3) 【改訂版】

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、相手に確かめたり、つなぎ言葉を使ったり、相づちや関連する質問と答えを交えながら、即興で会話を継続・発展させることができる。
- イ 日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に応答したりして、会話を継続・発展させることができる。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを説明したり、相手により詳しい説明を求めたりするなど、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

①山梨県版CAN-DOリストについて 小・中・高を通じた「話すこと[やり取り]」

中1

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、**即興である程度継続して**伝え合うことができる。
(※) ①相手に聞き返し、確かめ ②相づち、つなぎ言葉 ③相手の答えを受けて、自分のことを伝える ④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える
- イ 日常的な話題について、**限られた時間で**事実や自分の考え、気持ちなどを**整理し**、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- ウ 社会的な話題に関して**聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと**を、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

小6

- ア 初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、**自分で考え判断して**それらに応じたり、**断ったり**することができる。
- イ 日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、**相づちを打ったり**、質問したりして、**ある程度継続して伝え合う**ことができる。
- ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、**その場で、関連する質問**をしたり質問に答えたりして、**短い会話**をすることができる。

小5

- ア **初対面の人に対しても、進んで**挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。
- イ 日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、**相手が言ったことを繰り返したり、応答したり、質問したりして**、伝え合うことができる。
- ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、**その場で、自分の力で**質問したり質問に答えたりして、**短い会話**をすることができる。

中2

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、**即興で会話を継続**させることができる。
- イ 日常的な話題について、**限られた時間で**事実や自分の考え、気持ちなどを**整理し**、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に**応答したり**して、**会話を継続**させることができる。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、**その理由など**を、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

中3

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、**即興で会話を継続・発展**させることができる。
- イ 日常的な話題について、**限られた時間で**事実や自分の考え、気持ちなどを**整理し**、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に**応答したり**して、**会話を継続・発展させる**ことができる。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを説明したり、**相手により詳しい説明を求めたりする**など、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

高1

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、**多くの支援を活用すれば**、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、**多くの支援を活用すれば**、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを**論理性に注意して話して伝え合う**ことができるようにする。

1 事務局より

②2学期末に行うパフォーマンス課題例について

【参考】

実施対象：第5学年

山梨県版CAN-DOリスト 話すこと[やり取り]

ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、自分の力で質問したり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。

参考：第6学年

ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。

※5年生：関連性が多少薄くても、質問したり、答えたりできればよい。

6年生：「関連する質問」をして会話がある程度継続させる。

2学期末に行うパフォーマンス課題例について

パフォーマンス課題例(小5)

ALTの先生は、コロナが収束したあと、日本(山梨)で旅行をしたいと考えています。ALTの先生と〇分間、英語でやり取りをして、ALTの先生にぴったりの山梨県(日本)の場所を決めてください。

ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	単元で学習した〇〇やその他既習表現を用いて、あやまりのない英文で、ALTにぴったりの場所についてやり取りすることができる。	ALTにぴったりの場所を決めるために、その場で、自ら質問をしてALTの情報を得たり、ALTからの質問に答えたりしている。	ALTにぴったりの場所を決めるために、その場で、自ら質問をしてALTの情報を得たり、ALTからの質問に答えたりしようとしている。
B	あやまりが一部あるが、単元で学習した〇〇を用いて、コミュニケーションに支障のない程度の英文で、ALTにぴったりの場所についてやり取りすることができる。	ALTにぴったりの場所を決めるために、ALTの助けを借りながら、その場で、質問をしたり、質問に答えたりしている。	ALTにぴったりの場所を決めるために、ALTの助けを借りながら、その場で、質問をしたり、質問に答えたりしようとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない ¹⁸ 。

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現B】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona).

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定
(/What is your favorite place?)

A : Sorry, I have no idea (/plan).

S : Kose Park is nice.

A : Why? ※ALTの助け→自分の力で

S : You play soccer. (/You're good at playing soccer.)

※相手にぴったりの理由

Your position?

※質問はしているが、相手にぴったりの場所にはつながらない

A : GK. Thank you, △△.

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現A】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona).

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定
(/What is your favorite place?)

A : Sorry, I have no idea (/plan).

S : I see. Do you like sports?

※ALTにぴったりの場所を決めるために自ら質問

A : Very much. I play soccer.

S : Oh, me too. Kose Park is nice.

You can watch soccer games.

※ALTにぴったりの理由

A : That's nice. I want to go to Kose Park. Thank you, △△.

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現C】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona),

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定
(/What is your favorite place?)

A : Sorry, I have no idea (/plan).

S : Kose Park is nice. ※自分の思い

A : Why?

S : I play soccer. ※自分の思い

A : Oh, nice. I like playing soccer, too. Thank you, △△.

1 事務局より

②2学期末に行うパフォーマンス課題例について

実施対象：第1学年

主な言語材料：疑問詞・三単現・代名詞など

山梨県版CAN-DOリスト 話すこと[やり取り]

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興である程度継続して伝え合うことができる。

(※) ①相手に聞き返したり確かめたりする ②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする ③相手の答えを受けて、自分のことを伝える ④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える など

イ 日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

参考：第6学年

ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。

2学期末に行うパフォーマンス課題例について

パフォーマンス課題例(中1)

ALTの先生は、コロナが収束したあと、日本(山梨)で旅行をしたいと考えています。ALTの先生と〇分間、英語でやり取りをして、ALTの先生にぴったりの山梨県(日本)の場所を決めてください。

ループリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	単元で学習した〇〇やその他既習表現を用いて、あやまりのない英文で、ALTにぴったりの場所についてやり取りすることができる。	ALTにぴったりの場所を決めるために、その場で、自ら様々な質問をしてALTの情報を得たり、ALTが言ったことに詳しく応答したりしている。	ALTにぴったりの場所を決めるために、その場で、自ら様々な質問をしてALTの情報を得たり、ALTが言ったことに詳しく応答したりしようとしている。
B	あやまりが一部あるが、単元で学習した〇〇を用いて、コミュニケーションに支障のない程度の英文で、ALTにぴったりの場所についてやり取りすることができる。	ALTにぴったりの場所を決めるために、その場で、自ら質問をしてALTの情報を得たり、ALTが言ったことに応答したりしている。	ALTにぴったりの場所を決めるために、その場で、自ら質問をしてALTの情報を得たり、ALTからの質問に答えたりしようとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない ²⁸ 。

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現B】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona).

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定

A : Sorry, I have no idea (plan).

S : I see. Do you like sports?

※ALTにぴったりの場所を決めるために自ら質問

A : Very much. I play soccer.

S : Oh, me too. Do you know VFK? ※方略「相づち・関連する質問」

A : Sorry, I don't know so much about it, but my son likes it very much.

S : OK. So, Kose Park is nice. You can watch VFK games.

※ALTにぴったりの理由

A : That's good. I'll to go to Kose Park with him. Thank you, △△.

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現A】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona).

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定

A : Sorry, I have no idea (plan).

S : I see. Do you like sports?

※ALTにぴったりの場所を決めるために質問

A : Very much. I play soccer.

S : Oh, me too. Do you know VFK? ※方略「相づち・関連する質問」

A : Sorry, I don't know so much about it, but my son likes it very much.

S : VFK is a great team. Which team do you like? ※様々な応答・質問

A : I like FC Barcelona very much.

S : OK. So, Kose Park is nice. You can enjoy soccer games.

※ALTにぴったりの理由

A : That's nice. I'll to go to Kose Park. Thank you, △△.

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現C】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona),

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定
(/What is your favorite place?)

A : Sorry, I have no idea (/plan).

S : Kose Park is nice. ※自分の思い

A : Why?

S : I play soccer. ※自分の思い

A : Oh, nice. I like playing soccer, too. Thank you, △△.

2学期末に行うパフォーマンス課題例について

パフォーマンス課題例(中1) ver.2

ALTの先生は、コロナが収束したあと、**家族**と日本(山梨)で旅行をしたいと考えています。ALTの先生と○分間、英語でやり取りをして、ALTの先生と**家族**にぴったりの山梨県(日本)の場所を決めてください。

ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	単元で学習した○○やその他既習表現を用いて、あやまりのない英文で、ALTにぴったりの場所についてやり取りすることができる。	ALTと家族にぴったりの場所を決めるために、自ら質問をしてALTと家族の情報を得たり、ALTが言ったことに応答したりしている。	ALTと家族にぴったりの場所を決めるために、自ら質問をしてALTと家族の情報を得たり、ALTが言ったことに応答しようとしている。
B	あやまりが一部あるが、単元で学習した○○を用いて、コミュニケーションに支障のない程度の英文で、ALTにぴったりの場所についてやり取りすることができる。	ALTにぴったりの場所を決めるために、自ら質問をしてALTの情報を得たり、ALTが言ったことに応答したりしている。	ALTにぴったりの場所を決めるために、自ら質問をしてALTの情報を得たり、ALTが言ったことに応答しようとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない ²⁷ 。

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現B】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona).

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定

A : Sorry, I have no idea (plan).

S : I see. Do you like sports?

※ALTにぴったりの場所を決めるために自ら質問

A : Very much. I play soccer.

S : Oh, me too. Do you know VFK? ※方略「相づち・関連する質問」

A : Well, I don't know so much about it, but my son likes it very much.

※ALTから家族の情報が出る

S : OK. So, Kose Park is nice. You can watch VFK games.

※ALTにぴったりの理由

A : That's good. I'll go to Kose Park with him. Thank you, △△.

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現A】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona).

S : Where do you want to go with your family? ※2学期の言語材料を想定

A : Sorry, I have no idea (plan).

S : I see. Do you like sports?

※ALTにぴったりの場所を決めるために質問

A : Very much. I play soccer.

S : Oh, me too. I'm a fan of VFK. ※方略「相づち・付け加え」

○○sensei, (you have a son.) what does your son like?

※ALTの家族の好みをきくために質問

A : Well, he likes Japanese festivals very much.

S : OK. So, Kose Park is nice.

You can enjoy soccer games and Japanese yatai.

※ALTと家族にぴったりの理由

A : That's good. I'll go to Kose Park with him. Thank you. ^ ^

想定されるパフォーマンス【思考・判断・表現C】

A : Hello.

S : Hello, ○○sensei.

A : I want to travel (/go somewhere) in Yamanashi (after corona),

S : Where do you want to go? ※2学期の言語材料を想定

(/What is your favorite place?)

A : Sorry, I have no idea (/plan).

S : Kose Park is nice. ※自分の思い

A : Why?

S : I play soccer. ※自分の思い

A : Oh, good. I like playing soccer, too. Thank you, △△.

2学期末に行うパフォーマンス課題例について

パフォーマンス課題例（高1）

ALTの先生は、コロナが収束したあと、日本（山梨）で旅行をしたいと考えています。ALTの先生と〇分間、英語でやり取りをして、ALTの先生にふさわしい山梨県（日本）の場所を決め、ALTの先生に理由提案してください。

条件1: ALTにふさわしい場所を決めるために、質問をしてALT自身について情報を（ALTの趣味や嗜好、これまでの旅行の経験など）を得ている。

条件2: なぜその場所はALTにふさわしいのか理由を述べている。

ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	単元で学習した〇〇やその他既習表現を用いて、あやまりのない英文で、ALTにふさわしい場所についてやり取りすることができる。	二つの条件を満たした上で、ALTにふさわしい場所について、理由や関連した情報を詳しく述べて提案している。	二つの条件を満たした上で、ALTにふさわしい場所について、理由や関連した情報を詳しく述べて提案している。
B	あやまりが一部あるが、単元で学習した〇〇を用いて、コミュニケーションに支障のない程度の英文で、ALTにふさわしい場所についてやり取りすることができる。	二つの条件を満たしており、ALTにふさわしい場所を提案している。	二つの条件を満たした上で、ALTにふさわしい場所について、理由や関連した情報を詳しく述べて提案している。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。 ³¹

第3回ワーキング(2/24)に向けて取り組んでいただきたいこと

- ・研究授業・研究会の実施及び視聴
- ・事務局より提案したパフォーマンス課題の実施
- ・生徒のパフォーマンスの録画(経年比較を見通して)
- ・アンケート調査2回目の実施
- ・研究授業の振り返り
- ・事業完了報告書の作成

※事務局より、随時連絡させていただきます。

Thank you for your attention.